インテル® デスクトップ・ボード BIOS 設定用語集 – アルファベット順

BIOS セットアップ・プログラムを使用すると、コンピューターの BIOS 設定を閲覧、変更することができま す。 BIOS セットアップ・プログラムは、自己診断テスト(POST)のメモリーテスト開始後、オペレーティ ング・システムの起動前に<F2>キーを押すことにより起動します。 以下のメニュー・オプションがあります

メニューのタ	目的
イトル	
Maintenance	パスワードのクリアーおよびプロセッサー情報の表示
	Maintenance メニューはデスクトップ・ボードが Configure モードの場合のみ表 示されます。
Manageability	インテル® プラットフォーム・アドミニストレーション・テクノロジーに関連
	したオプションの設定
Main	プロセッサーおよびメモリー構成の表示
Advanced	チップセットで利用できる高度な機能の設定
Security	パスワードおよびセキュリティー機能の設定
Power	電源管理機能および電源コントロールの設定
Boot	起動オプションの選択
Intel® ME	インテル® マネジメント・エンジンおよびインテル® アクティブ・マネジメン
	ト・テクノロジー用オプションの設定
Exit	セットアップ・プログラム・オプション変更の保存または破棄

BIOS のメニューと設定は、お使いのボードのモデル、インストールされているハードウェアの構成要素、そして BIOS のバージョン等により異なります。BIOS メニューのタイトルが、異なる場合もあります。

BIOS 設定後に、何か問題 (性能の低下や、一時中断する等の問題) が発生したら、デスクトップ・ボード を、デフォルト値にセットし直してください。

- 1. 起動中に F2 を押し、 BIOS のセットアップ画面に移動します。
- 2. F9を押し、デフォルト値に設定します。
- 3. F10 を押して保存し、終了してください。

BIOS 設定の変更後に、システムがロックしたり、起動しない場合は、次のページの説明にしたがって BIOS リカバリーを実行してください:http://www.intel.com/jp/support/motherboards/desktop/sb/CS-023360.htm.

0 – 9

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方法	オプション	説明/目的
1394	Configuration > On-Board Devices	EnableDisable	IEEE 1394 サポートの有効または無効を指定
			この BIOS 設定は、IEEE 1394 搭載インテル® デスクト ップ・ボードにのみ表示されます。
			IEEE 1394 の詳細については、次を参照してください: http://en.wikipedia.org/wiki/IEEE_1394
1-Core Ratio Limit 2-Core Ratio Limit 3-Core Ratio Limit 4-Core Ratio Limit	Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology	数值	x 個のコアがアクティブのときインテル [®] ターボ・ブー スト・テクノロジーが使用するプロセッサーの最大倍率

Α

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方	オプション	説明/目的
	法		
Active Certificate	Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t \ge l \ddagger t$ Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage Permanent Certificates $\ddagger t \ge l \ddagger$ Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t \ge l \ddagger t$ Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage User Defined Certificates	• Yes • No	証明書ハッシュが有効かどうかを決定。 有効な証明書はリモート 設定の PKI プロセスで使用できます。 Yes: 有効 No: 無効
Active Processor Cores	Main	• All • 1 • 2	それぞれのプロセッサー・パッケージで有効にするコア数を選択 <i>この BIOS 設定はマルチコア・プロセッサー搭載システムにのみ表 示されます。</i>
After Power Failure	Power	• Stay Off • Last State • Power On	電源損失(例:停電、ACコード抜け)から回復した場合の動作モ ードを決定 Stay Off:電源の復帰後、電源ボタンが押されるまで電源オフのま まにする Last State:電源損失の発生前の電源状態に復帰する Power On:電源の復帰後、自動的にシステムの電源をオンにする
All-On Temperature Allow Simultaneous PCle x16 Video Card	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring Performance > Bus Overrides	数値 • Enable • Disable	ファン・コントロール・サブシステムがファンの回転速度を最高速 にする温度を定義 この設定を有効にすると、x16 スロットに取り付けた PCle x16 ビ デオカード (PEG) とプロセッサー統合ビデオ (IGD) と同時に使用 できます。

Alternate DNS Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv4 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例: 255.255.255.0)
Alternate DNS IPv6 Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例: 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
Asset Tag	Main > System Identification Information > Chassis Information または Main > System Identification Information > Desktop Board Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシまたはデスクトップ ・ボードのアセットタグ文字列を表示
ATS	Security > Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	EnableDisable	非 Isoch VT-d エンジン・アドレス変換サービス (ATS) サポートの 有効または無効を指定
Audio	Configuration > On-Board Devices	• Enable • Disable	オンボード・オーディオの有効または無効を指定

в

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方	オプション	説明 / 目的
	法		
Back Panel 61XX eSATA (Gen 2)	Configuration > SATA Drives	EnableDisable	バックパネル eSATA コネクターの有効または無効を指定
Backlight-Off to Power-Down Delay Time (ms)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	バックライトが消えてからパネルの電源がオフになるまでの遅延 時間を指定
Backward Compatibility Mode	Configuration > On-Board Devices > USB	• Enable • Disable	Enabled: 旧型の USB デバイスや低速 USB デバイスとの互換性 が高い、以前の USB コントローラー・モードを使用。 このモー ドに設定すると、USB ポートの個別コントロールが無効となり、 インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジーの一部機能 が利用できなくなります (KVM など)。
BIOS Version	Main	情報のみ	現在インストールされている BIOS のバージョンを表示
Bluetooth Wireless	Configuration > On-Board Devices	• Enable • Disable	オンボード ・ ワイヤレス・コントローラーの有効または無効を指 定 <i>この BIOS 設定は Bluetooth 搭載インテル® デスクトップ・ボード</i>
			にのみ表示されます。
Boot Device Priority	Boot	Removable Devices Optical Drive Hard Disk Drive Ethernet	利用可能な起動デバイスについて起動する優先順位を指定。 オプ ションの一覧は使用中のボードモデルとハードウェア構成によっ て異なる場合があります。

Boot Drive Order	Boot	取り付けられ ている起動可 能なデバイス	利用可能な起動デバイスの種類から起動時の優先順位を指定 検出されているデバイスすべてが一覧に表示され、 ユーザーがデ バイスの起動順序を変更可能。 BIOS は、この順序に従って各デ バイスから起動を試みます。
Boot Menu Type	Boot	Normal Advanced	Normal: デバイスの種類に基づいて起動優先順位を設定可能 Advanced: カテゴリーに関係なく、個別のデバイスの起動優先順 位を設定可能
Boot to Network	Boot	EnableDisable	ネットワーク (PXE) からの起動が有効か無効かを設定
Boot to Optical Devices	Boot	EnableDisable	起動メディアとして CD/DVD が有効か無効かを設定
Boot to Removable Devices	Boot	• Enable • Disable	起動メディアとしてリムーバブル・デバイスが有効か無効かを設 定
Boot USB Devices First	Boot	EnableDisable	Enable: BIOS は他のデバイスより先に対応 USB デバイスから起 動を試行 Disable: 通常の起動順序に従って起動
Brightness Steps	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	オペレーティング・システムに報告するディスプレイの輝度ステ ップ数を設定

С

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Cert. Serial Number	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	証明書のシリアルナンバーを表示
Cert. Type	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	証明書の種類を表示: User Defined、Permanent Default、 Not Defined のいずれか
Certificate Algorithm	Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t$: \ddagger Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage Permanent Certificates	情報のみ	証明書アルゴリズムを表示: SHA1、SHA256、または SHA384 のいずれか
Certificate Algorithm	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage User Defined Certificates	• Empty • SHA1 • SHA256 • SHA384	アルゴリズムの種類と生成された証明書ハッシュは一致する必要 があります。

Change Intel® Management Engine Password	Intel® ME	ユーザー定義	他の ME オプションヘアクセスする前に、インテル® ME パスワ ードをデフォルトのパスワードから変更する必要があります。 システムの所有者は新しいインテル ME パスワードを記録し、安 全な場所 (保管室、貸金庫、または敷地外の保管室など)に保存し て、将来利用可能な状態にしておいてください。 この記録は、パ スワードに変更が加えられる度に更新する必要があります。
Charging Scheme	Configuration > On-Board Devices > USB	Auto USB- Compliant Alternative	Portable Device Charging Mode 設定が有効なときに使用する充電 スキームを選択 Auto: 最も互換性の高い充電スキームの自動検出を試行 USB-Compliant: USB 準拠の充電スキームを使用 Alternative: その他の充電スキームを使用
Chassis Intrusion	Security	・Disable ・Enable または ・Disable ・Log Only ・Pause POST	シャーシの侵入検知機能の有効または無効を指定 Disable: シャーシの侵入検知機能を無視し、イベントを記録しな い Log only: BIOS イベントログに項目を作成 Pause POST: BIOS イベントログに項目を作成し、メッセージを 表示
Chipset-SATA Mode	Configuration > SATA Drives	• IDE • RAID • AHCI	 IDE: 互換モードで AHCI サポートを無効にする AHCI: ネイティブ・コマンド・キューイング (NCQ) など高度な SATA 機能に対応 RAID: 複数のドライブを大容量のボリュームに統合してパフォーマンスおよび信頼性を向上する 常に AHCI が有効になります。 警告: この設定をオペレーティング・システムのインストール後に変更すると、システムが起動しない場合があります。
Clear BIOS Passwords	Maintenance	Continue? (Y/N)	選択すると BIOS スーパーバイザー・パスワードと BIOS ユーザ ーパスワードをクリアします。 その他の BIOS 関連パスワード (インテル® ME、ハードドライブなど) はクリアしません。
Clear Event Log	Configuration > Event Log	• Yes • No	Yes はイベントログ中のすべてのイベントを破棄。このオプショ ンは BIOS 終了時に No にリセットされます。
Clear Trusted Platform Module	Maintenance	• No • Yes	保管されている暗号化キーをすべて消去し、TPM の所有者をクリ アします。 この項目は、プラットフォームの所有権を新しい所有 者に譲渡する場合に TPM をクリアするために使用します。 この BIOS 設定は、トラステッド・プラットフォーム・モジュー ル (TPM) をサポートをしており、かつ TPM が有効になっている インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます。 詳細については、「トラステッド・プラットフォーム・モジュー ル・クイックリファレンス・ガイド」を参照してください。
Clear User Password	Security	Continue? (Y/N)	ユーザーパスワードのクリア <i>この BlOS 設定はユーザーパスワードが設定済みの場合にのみ表 示されます。</i>
Coherency Support	Security > Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	• Enable • Disable	非 Isoch VT-d エンジン・コヒーレンシー・サポートの有効または 無効を指定

Color Depth	Configuration > Video > LVDS Settings > Advanced LVDS Settings	• 18-bpp • 24-bpp (VESA) • 24-bpp (JEIDA)	フラットパネル・ディスプレイの色深度をビット・パー・ピクセ ル (bpp) およびデータマッピングで設定 注: JEIDA サポートがない場合、24 bpp (VESA) は "24-bpp" と表 示されます。
Command Rate	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	• Auto • 1T • 2T	Auto: メモリーのモードに応じて調整。 通常 2T が、より安定する設定です。
Computer Name	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration	ユーザー定義	コンピューター名の設定
Control Mode	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	• Minimum • Off • Manual	このヘッダーに接続されているファンの制御方法を指定 Minimum:ファンがそれ以下の速度では回転しない最小デューティー・サイクルを設定 Off:デューティー・サイクルを0に設定 Manual:デューティー・サイクルを特定の値に指定
Control Temperature	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	数值	ファン・コントロール・サブシステムがこのデバイスで維持する 温度を指定
Core Max Multiplier	Performance	情報のみ	コア周波数倍率の既定値、理論値、および現在値を表示
CPU C States	Power	• Enable • Disable	CPUCステートを有効または無効に指定 有効の場合、C1以下のCステート情報をオペレーティング・シ ステムに報告します。 これにより、オペレーティング・システム がアイドリング時には、電源消費と加熱を抑えるためプロセッサ ーは低いステートに移行できます。
CPU Idle State	Performance > Processor Overrides	HighPerformanceLow Power	High Performance:オペレーティング・システムが常に最大倍率 で動作するように強制 Low Power:周波数倍率を低く調節することを許可
CPU Voltage Override	Performance > Processor Overrides	複数の電圧値	プロセッサー電圧の設定 警告: この値を既定値から変更するとプロセッサーの寿命短縮に つながる恐れがあります。既定値の使用を強くお薦めします。
CPU Voltage Override Type	Performance > Processor Overrides	• None • Static • Dynamic	None: プロセッサーは既定の上限値で電圧を管理 Static: プロセッサーは常に特定ユーザーが指定した電圧で動作 Dynamic: ユーザー指定の上限値を用いて、プロセッサーが電圧 レベルを管理
CPU VREG Droop Control	Performance > Processor Overrides	 Low V-droop (Performance) Mid v-droop High V-Droop (Power Saving) 	より低い V-droop に設定すると CPU 供給電力が増加します。 こ れにより発熱量が増大しますが、一方で CPU の安定性が高まる可 能性があります。
Current Duty Cycle	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	情報のみ	ファンの現在のデューティー・サイクル
Current Fan Speed	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	情報のみ	ファンの現在の回転速度を表示

Current Reading	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	情報のみ	温度センサーの場合: 現在の温度を表示
0	5		電圧センサーの場合: 現在の電圧を表示

D

	PIOC 両支ボクマクトマナ	+	
BIUS 設定	DIUS 画面でのアクセス方 注	オリション	(2019) / 日 2)
Damping	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	• Low • Normal • High	ファンの回転速度調整の変動を抑制。 高に設定すると変動が少な くなりますが、少し遅れて温度調整が行なわれる場合がありま す。
Date	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	プロビジョニング日を表示
Deep S4/S5	Intel® ME > Intel® Management Engine Configuration または Power	• Enable • Disable	ディープ S4/S5 の有効または無効を指定 この設定を有効にすると S4/S5 スリープ状態での消費電力を低減 できますが、S4/S5 状態からの復帰には電源ボタンまたは RTC ア ラームが必要となります。
Default Gateway Address	Intel® ME > Intel® Active (ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例: 255.255.255.0)
Delete TLS Pre-Shared Key (PSK) PID/PPS	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	Continue? (Y/N)	再度プログラムできるように TLS Pre-Shared Key (PSK) PID/PPS を削除
Detected Discrete-SATA Device	Configuration > SATA Drives	情報のみ	Discrete SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別 文字列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、ま たは 6.0 Gb/秒) を表示
Detected RAID Volume	Configuration > SATA Drives	情報のみ	RAID 構成の場合、各 PCH SATA RAID ボリュームの名前と容量 (GB) を表示
Detected SATA Drive	Configuration > SATA Drives	情報のみ	SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字列、 容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒) を表示
Detected Secondary SATA Device	Configuration > SATA Drives	情報のみ	Secondary SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識 別文字列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、 または 6.0 Gb/秒) を表示
Detected Video Device Priority	Configuration > Video	検出されたビ デオ・デバイ スの一覧	Primary Video Adaptor が Manual に設定されている場合、検出さ れたビデオデバイスの一覧がここに表示されて、起動中に使用す るビデオデバイスの優先順位を指定できます。
DHCP	Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t$:L Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv4 TCP/IP Configuration	• Enable • Disable	インテル® ME の DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) の 有効または無効を指定

DIMM n (Memory Channel x Slot	Maintenance	情報のみ	搭載システムメモリー DIMM n (チャネル x スロット y) の搭載シ ステムメモリーの容量 (GB) を表示 (例: 2 GB)
у)			マザーボードに搭載されているそれぞれのメモリースロットに対 して1行が表示されます。 表示順はプロセッサーからメモリース ロットまでの距離に基づいており、プロセッサーに最も近いスロ ットが最初に表示されます。 DIMM 番号はメモリー読み込みの推 奨順に基づいており、ボードのシルクスクリーンと一致しなけれ ばなりません。
Discard	Fxit	Continue?	
Changes		(Y/N)	ターの電源が投入された時点のオプション値が使用されます。
Discrete SATA	Configuration > SATA Drives	EnableDisable	Discrete SATA コントローラーの有効または無効を指定
			BIOS 画面に表示される追加のヘルプテキストはボード固有です。
Discrete SATA	Configuration > SATA	• IDE	IDE: 互換モードで RAID サポートを無効にする
Mode	Drives	• RAID	RAID: 複数のドライブを大容量のボリュームに統合してパフォー マンスおよび信頼性を向上する
			警告: この設定をオペレーティング・システムのインストール後に変更すると、システムが起動しない場合があります。
Display F2 to Enter Setup	Boot > Boot Display Options	EnableDisable	有効の場合、BIOS は "Display F2 to Enter Setup" プロンプトを表 示。 このプロンプトが無効でも F2 キーの入力は有効です。
Display F7 to Update BIOS	Boot > Boot Display Options	EnableDisable	有効の場合、BIOS は "F7 to Update BIOS" プロンプトを表示。 このプロンプトが無効でも F7 キーの入力は有効です。
Display F9 for Remote Assistance	Boot > Boot Display Options	• Enable • Disable	有効の場合、BIOS は "F9 for Remote Assistance" プロンプトを表示。 このプロンプトが無効でも F9 キーの入力は有効です。 <i>この BIOS 設定は、リモート・アシスタント対応デスクトップ・</i>
			ボードにのみ表示されます。
Display F10 to Enter Boot Menu	Boot > Boot Display Options	EnableDisable	有効の場合、BIOS は "F10 to Enter Boot Menu" プロンプトを表示 。 このプロンプトが無効でも F10 キーの入力は有効です。
Display F12 for	Boot > Boot Display	Enable	有効の場合、BIOS は "F12 for Network Boot" プロンプトを表示。
Network Boot	Options	Disable	このプロンプトが無効でも F12 キーの入力は有効です。
Domain Name	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration	ユーザー定義	ドメイン名の設定 (コンピューターが接続しているネットワーク名)
Dynamic DNS Update	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration	• Enable • Disable	Enable: インテル [®] ME はダイナミック DNS アップデート・プロ トコルを使用し、その DNS (Domain Name System) 内で IP アド レスおよび FQDN (完全修飾ドメイン名: Fully Qualified Domain Name) の登録を試行する Disable : インテル [®] ME は DNS の更新を試行しない。 IPv6 の DDNS (ダイナミック DNS) には専用の FQDN が必要です。
Dynamic DNS TTL	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration	数值	Dynamic DNS Update が有効な場合、DDNS (Dynamic DNS) の TTL (Time-To-Live) 値を設定。 0 に設定した場合、この値は内部 既定値の 15 分間または DHCP リース期間の 3 分の 1 となりま す。

E			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
ECC Event Logging	Performance > Memory Overrides	EnableDisable	ECC イベントのイベントログの有効または無効を指定
EDID Data Source	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	 Flat Panel Display Custom Payload Pre-Defined 	フラットパネル・ディスプレイのパラメーターを選択したソース から読み込みます。
eDP Data Rate	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	• 1.62 Gbps • 2.70 Gbps	Embedded DisplayPort (eDP) リンクのデータ転送レートを設定。 リンク確立中に受信側デバイスが AUX ハンドシェイクが必要ない ことを示した場合に使用されます。
eDP Interface Type	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	 Single-Lane Dual-Lane Quad-Lane 	Embedded DisplayPort (eDP) 接続を設定
Enable IPv6	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	• Enable • Disable	Enable: インテル® ME の IPv6 アドレスは、ホスト OS とは共有 されずインテル® ME 専用 Disable: インテル® ME はホスト OS と IPv6 アドレスを共有
Enable KVM	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > KVM Configuration	• Enable • Disable	Enable: キーボード、マウス、ビデオの IP 経由の転送を許可。 ビデオはローカル・クライアントからリモート・コンソールに転 送され、 キーボードとマウスはリモート・コンソールからローカ ル・クライアントに転送されます。 Disable: KVM 機能の無効化
Enhanced Consumer IR	Configuration > On-Board Devices	EnableDisable	赤外線センサーポートの有効または無効を指定
Enhanced Halt State (C1E)	Power	• Enable • Disable	拡張 Halt ステートの有効または無効を設定。プロセッサーは、 C1E (Halt) アイドリング・ステートで消費電力を更に低減し、放 熱も抑えることができます。
Enhanced Intel SpeedStep® Technology	Power	• Enable • Disable	拡張版インテル SpeedStep® テクノロジー (EIST) の有効または無 効を指定。有効にすると、システムはプロセッサーの動作電圧と コア動作周波数を動的に調整し、平均消費電力の抑制、放熱の低 減、静音化を実現します。 SpeedStep の詳細については、次を参照してください: <u>http://en.wikipedia.org/wiki/Speedstep</u>
Enter Intel® Management Engine Password	Intel® ME	ユーザーの入 カ	インテル® ME ページのその他のオプションにアクセスするには、 インテル® ME パスワードの入力が必要です。
eSATA Controller Mode	Configuration > SATA Drives	• IDE • RAID	バックパネル eSATA ポートは BIOS では IDE モードおよび RAID モードをサポートします (AHCI はありません)。 OS が起動しド ライバーが読み込まれると、SATA コントローラーのサポートは 全て OS のドライバーが提供します。 注: RAID アレイを複数の SATA ドライバー・コントローラー (x6 ICH10 Gen-2 黒色ポート, x2 Discrete Gen-3 青色ポートおよび x2 eSATA Gen-2 赤色ポート) で共有することはできません。
eSATA Port x Hot Plug Capability	Configuration > SATA Drives	• Enable • Disable	有効にすると SATA ポートをホットプラグ対応として報告します 。

eSATA Ports	Configuration > SATA Drives	• Enable • Disable	External SATA (eSATA) ポートの有効または無効を指定 eSATA の詳細については、次のリンクを参照してください: <u>http://en.wikipedia.org/wiki/Esata#External_SATA</u>
Event Logging	Configuration > Event Log	• Enable • Disable	イベントロギングの有効または無効を指定。 有効の場合、BIOS は POST エラーを NVRAM に記録します。
Execute Disable Bit	Security	• Enable • Disable	Execute Disable テクノロジー導入の有効または無効を指定 <i>詳細は http://www.intel.com/technology/xdbit/ を参照してください</i>
Exit Discarding Changes	Exit	Continue? (Y/N)	BIOS セットアップ・プログラムで行った変更を保存せずに終了
Exit Saving Changes	Exit	Continue? (Y/N)	すべての変更を保存し、BIOS セットアップを終了
Expansion Card Text	Boot > Boot Display Options	• Disable • Enable • Hide all	Disable : BIOS は POST 中にマスストレージ PCI オプション ROM からテキストのみを表示 Enable: BIOS は POST 中に任意の PCI オプション ROM のテキ ストを表示 Hide All: BIOS は POST 中に PCI オプション ROM のテキストを 表示しない
External eSATA Port	Configuration > SATA Drives	情報のみ	その SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字 列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒) を表示。 デバイスが接続されていない場合には [Not Installed] という文字列が表示されます。

F

F			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Failsafe Watchdog	Performance	• Enable • Disable	Failsafe Watchdog の有効または無効を指定 Failsafe Watchdog が有効な場合、起動エラーが生じた後にシステムが再起動して、前回ユーザーが設定した値を使用して BIOS セットアップ・プログラムに戻ります。
Family	Main > System Identification Information > System Information	情報のみ	SMBIOS タイプ1ストラクチャーからファミリー文字列を表示
Fan Type	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	情報のみ	検出されたファンの種類を表示
Fan Usage	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	 Unknown CPU System MCH VREG Chassis Inlet Outlet PSU PSU In PSU Out HDD Video Aux IOH PCH Memory 	このヘッダーに接続されているファンの用途を指定

Fast Boot	Boot	EnableDisable	Fast Boot 機能の有効または無効を指定 BIOS のセットアップ画面に入らずに Fast Boot を無効にする場合
			、電源を5秒間切った後に、電源ボタンを2秒間押し続けて電源 を入れます (ビープ音が鳴ります)。
Firmware Version	Main > System Identification Information > Intel® Management Engine	情報のみ	現在インストールされているインテル® ME ファームウェアのバー ジョンを表示
	mornation		この BIOS 設定はインテル® マネジメント・エンジン (インテル® ME) 対応ボードにのみ表示されます。
Fixed Disk Boot Sector	Maintenance	Normal Write Protect	Write Protect : ある程度のウイルス対策機能を提供
Flash Update Sleep Delay	Power	• Enable • Disable	有効にすると、Flash アップデート電源サイクル時に 20 秒間スリ ープ状態になります。 この機能を有効にすると、電源装置との互 換性が向上します。
Flat Panel Configuration Changes	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	Unlocked Locked	ロックした場合、ロック解除には Intel® Integrator Toolkit が必要
Floppy Controller	Configuration > On-Board Devices	 Automatic Enable Disable 	フロッピーディスク・ドライブ・コントローラーを設定。 1.44MB フロッピーディスク・ドライブのみに対応。
			Automatic: フロッピーディスク・ドライブが接続されている場合 にオンボード FDD コントローラーを有効にします。
FLR Capability	Configuration > PCI/PCIe Add-In Slots	EnableDisable	FLR (Function Level Reset:機能レベルリセット)の有効または無 効を指定し、PCH デバイスを個別にリセット
Force On- board LAN Disable	Maintenance	EnableDisable	オンボード LAN およびアクティブ・マネジメント・テクノロジー の全機能を無効化
			この BIOS 設定はインテル® アクティブ・マネジメント・テクノ ロジー対応デスクトップ・ボードにのみ表示されます。
Front Panel Audio	Configuration > On-Board Devices > Audio	Auto High Definition Front	取り付けられているフロントパネル・オーディオの種類を自動ま たは手動で選択
		Panel • Legacy Front Panel	Auto:取り付けられているフロントパネル・オーディオの検出と 種類の識別を試行する
		Disable	High Definition Front Panel: フロントパネル・オーディオを HD モードに設定する
			Legacy Front Panel: フロントパネル・オーティオをレカシーモ ードに設定する Disable: フロントパネル・オーディオを無効にする
Fully Qualified Domain Name (FQDN)	Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t$ -lt Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	ユーザー定義	特定プロビジョニング・サーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN)。 FQDN にはホスト名とドメイン名の両方が必要です。

G			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的

General Optimization	Boot	• Enable • Disable	Enabled : BIOS の起動速度が高速化しますが、次の機能を無効 にします : Boot to Network、Boot to Optical Devices、Boot to Removable Devices
			RAID デバイスの起動はできますが、設定はできません。 この BIOS 設定は Fast Boot が有効になっている場合にのみ表示さ
			<i>れます。</i>
Graphics Dynamic Frequency (GHz)	Performance	情報のみ	グラフィックス・ダイナミック・フリークエンシーの理論値、現 在値、および既定値を表示
Graphics Max Multiplier	Performance	数値	グラフィックス・ダイナミック・フリークエンシーを選択: ホス トのクロック周波数 x 0.5 x グラフィックス最大周波数倍率 = グラ フィックス・ダイナミック・フリークエンシー

н

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Hard Disk Drive Password	Security	情報のみ	ハードディスク・ドライブ・パスワードが設定されているかどう か報告する
Hard Disk Pre- Delay	Configuration > SATA Drives	 Disable 3 Seconds 6 Seconds 9 Seconds 12 Seconds 15 Seconds 21 Seconds 30 Seconds 	ハードドライブ初期化までの遅延時間(秒)。 この設定は BIOS ス プラッシュ・スクリーンの表示時間の増減に使用できます。 ボードによって表示される時間のオプションが異なる場合があり ます。
Hard Drive Order	Boot	取り付けられ ているハード ディスク・ド ライブすべて の一覧	 ハードディスク・ドライブの優先順位を指定 (Boot Menu type が Normal に設定されている場合に使用) 一覧には検出されたハードドライブがすべてが表示され、 ユーザ ーがデバイスの優先順位を変更可能。 ハードディスク・ドライブ から起動する場合、BIOS はこの一覧の順序に従って起動を試行し ます。
Hash Data	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	ハッシュデータを表示
Hash Type	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	ハッシュの種類を表示: MD5、SHA1、SHA256、SHA512、Not Defined のいずれか

Hash Value	Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t$ - $l \ddagger$ Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage Permanent Certificates $\ddagger t$ - $l \ddagger$ Intel® ME > Intel® Active ($\ddagger t$ - $l \ddagger$ Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage User Defined Certificates	情報のみ	恒久的証明書またはユーザー定義証明書のハッシュ値を表示
HDMI/Display	Configuration > On-Board	Enable	Enable: HDMI/DisplayPort はオーディオとビデオの両方を出力
Port Audio	Devices > Audio	Disable	Disable : HDMI/DisplayPort はビデオのみ出力
Host Clock	Main	情報のみ	ホストのクロック周波数 (MHz) の既定値を表示
Frequency	または		
	Performance		
Host Clock	Performance	数值	ホストクロック周波数 x プロセッサー周波数倍率 = プロセッサー
(MHz)			1911作迷皮 ホストクロック周波数 x メモリー周波数倍率 = メモリー動作速度
			注:より高いベースクロック周波数での安定性を向上させるに
			は、シロセッリー周波数倍率またはメモリー周波数倍率は抑えてくください。
Host Clock	Performance	Automatic	手動設定の場合 :ホストクロック周波数の設定を変更
Override		• Manual	この BIOS 設定はホストクロック周波数の変更が可能なインテル®
			デスクトップ・ボードにのみ表示されます。
Host Initiated	Intel® ME > Intel® Active (情報のみ	ホストの開始状態を表示: Yes、No、または Invalid のいずれか
	または Standard) Management Technology		
	Configuration > View		
	Provisioning Record		

I			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Idle Timeout	Intel® ME > Intel® Management Engine Configuration	ユーザー定義	0~ 65535 の値で、インテル® ME がスリープ状態になるまでの アイドリング時間 (分) を設定。
			既定値の 0 に設定すると、インテル® ME はスリープ状態になら ず、省電力効果も得られません。
			このオプションは Turn on Intel® ME in Sleep States が有効な場合 にのみ表示されます。

IGD DVMT Memory	Configuration > Video	• 32 MB • 64 MB • 128 MB • 256 MB • Maximum DVMT	ダイナミック・ビデオ・メモリー・テクノロジー (DVMT) - 統合グ ラフィックス・デバイス (IGD) ビデオに割り当てるシステム・メ モリー容量の選択 インテル・ダイナミック・ビデオ・メモリー・テクノロジー 3.0 (DVMT 3.0) はアプリケーションの必要性に応じてグラフィックス 用に追加のメモリーを割り当てることができます。そのアプリケ ーションが終了すると、そのグラフィックス用に割り当てられて いたメモリーは解放されて、システムが使用します。 利用可能なオプションはボードによって異なります。 DVMT の詳細については、,以下のリンクでインテル® グラフィッ クス・メディア・アクセラレーター 900 のホワイトペーパーを参 照してください。 http://www.intel.com/design/chipsets/applnots/30262403.pdf
IGD Flat Panel	Configuration > Video	Disable LVDS eDP	Disable : ビデオ BIOS の LVDS 出力と eDP 出力を無効化。 マル チモニターをサポートする構成では、BIOS は "IGD Primary Video Port" を使用します。
IGD Primary Video Port	Configuration > Video	Auto VGA Analog DVI-I (Blue) Analog DVI-I (Blue) Digital DVI-D (White) HDMI LVDS DisplayPort	システム起動時に使用する統合グラフィックス・デバイス (IGD) ディスプレイ・インターフェイスを選択 Auto: 接続されているモニターの検出を試み、最大 2 つのポート でビデオを表示
IGD Secondary Video Port	Configuration > Video	None VGA Analog DVI-I (Blue) Analog DVI-I (Blue) Digital DVI-D (White) HDMI LVDS DisplayPort	システム起動時に使用する、二重化された統合グラフィックス・ デバイス (IGD) ディスプレイ・インターフェイスを選択
Integrated Graphics Device	Configuration > Video	Enable if Primary Always Enable Always Disable	Enable if Primary : Primary Video Adaptor として指定されていない場合、統合グラフィックス・デバイス (IGD) は無効 Always Enable: Primary Video Adaptor として指定されていなくても、IGD は常に有効 Always Disable: 他にビデオ・デバイスが取り付けられていなくても、IGD は常に無効
Intel Enhanced Debug	Maintenance	Enable Disable	Enabled : プロセッサー関連の可能性があるシステムの問題を、 OS レベルでデバッグすることを許可

Intel® Hyper- Threading Technology	Main	• Enable • Disable	ハイパースレッディング・テクノロジーの有効または無効を指定 無効にすると、アクティブなコア1つに対して1つのスレッドし か実行できなくなります。 この BIOS 設定は、ハイパースレッディング・テクノロジー対応 プロセッサーの場合ハイパースレッディング・テクノロジーに対 応したインテル®デスクトップ・ボードにのみ表示されます。 ハイパースレッディングの詳細については、以下を参照してくだ さい。 http://en.wikipedia.org/wiki/Hyperthreading
Intel Trusted Execution Technology	Security	• Enable • Disable	インテル® トラステッド・エグゼキューション・テクノロジーの 有効または無効を指定。このハードウェア・ベースの保護メカニ ズムを利用すると、ソフトウェア・ベースの攻撃を防ぎ、データ の機密性や整合性を保護できます。 インテル® TXT が有効の場合、インテル® VT、インテル® VT-d、 インテル® HT、プロセッサーの全コア、およびオンボード TPM も有効になります。インテル® TXT が有効である場合、この機能 を無効にしてから、上記の必要機能を無効にしてください。 <i>トラステッド・エグゼキューション・テクノロジーの詳細につい</i> <i>ては、次を参照してください</i> : http://www.intel.com/jp/technology/security/
Intel® Dynamic Power Technology	Power	• Energy Efficient Performance • Off • Custom	プロセッサーのパワー・マネジメント機能の設定 Energy Efficient Performance: 非表示になる BIOS オプション: ・Enhanced Intel SpeedStep® Technology ・OS ACPI C2 Report 砂CS ACPI C3 Report 設定する BIOS オプション: ・Enhanced Intel SpeedStep® Technology を Enable にする ・OS ACPI C2 Report を Enable にする ・OS ACPI C3 Report を Disable にする ・PCIe ASPM Support を Enable にする ・PCIe ASPM Support を Enable にする Off: 非表示になる BIOS オプション: ・Enhanced Intel SpeedStep® Technology ・OS ACPI C2 Report ・OS ACPI C3 Report ・Enhanced Intel SpeedStep® Technology を Disable にする ・OS ACPI C3 Report ・Enhanced Intel SpeedStep® Technology を Disable にする ・OS ACPI C3 Report を Disable にする ・PCIe ASPM Support を Disable にする ・PCIe ASPM Support を Disable にする
Intel® Turbo Boost Technology	Performance	情報のみ	インテル [®] ターボ・ブースト・テクノロジーのステータスの既定値 、理論値、および現在値を表示

Intel® Turbo Boost Technology	Performance > Processor Overrides	• Enable • Disable	Enable : 消費電力、電流、温度が制限値より低い値で動作した場 合プロセッサー・コアをベース動作周波数より高速に実行できる Disable : Maximum Non-Turbo Ratio (最大非ターボ比率) を使用 する
Intel® Virtualization Technology	Security	• Enable • Disable	バーチャライゼーション・テクノロジーの有効または無効を指定 。 設定の変更には電源の入れ直しが必要です。
			詳細については、次を参照してください: <u>http://www.intel.com/jp/technology/virtualization/index.htm</u>
Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	Security > Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	• Enable • Disable	Directed I/O (VT-d) 向けインテル® VT の有効または無効を指定。 この機能は、I/O 仮想化の管理にハードウェア・サポートを追加し ます。 有効の場合、BIOS は DMA リマッピング ACPI 表を発行 します。 <i>インテル</i> ® VT の詳細については、次を参照してください: <u>http://www.intel.com/technology/advanced_comm/virtualization.htm</u>
Internal 91XX Blue SATA	Configuration > SATA Drives	• Enable • Disable	内部シリアル ATA 青色コネクターを有効または無効に設定
(Gen 3) Internal LED Brightness Level	Configuration > On-Board Devices	• Off • Low • Med • High	デスクトップ・ボードの電源スイッチの明るさを指定 <i>この BIOS 設定は一部のエクストリーム・シリーズのインテル</i> ® <i>デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</i>
Internal PLL Voltage Override	Performance	• Enable • Disable	Disable: プロセッサー内部の PLL 回路の電圧を初期値に維持し ます。 Enable: プロセッサー内部の PLL 回路の電圧を上昇させます。 プロセッサーが高い動作周波数で実行しているときに、安定性が 向上する場合があります。 警告: Internal PLL Voltage Override が有効になっていると ACPI S3 Sleep State が無効となります。
Internal SPDIF/DMIC Header	Configuration > Onboard Devices	SPDIF Out DMIC Mic	内部のデジタルオーディオ・ヘッダーを SPDIF または DMIC に指 定
Interrupt Remapping	Security > Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	EnableDisable	VT-d 割り込みリマッピング・サポートの有効または無効を指定
Inverter Frequency (Hz)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	適切な値については、インバーター・ボードの仕様を確認してく ださい。 警告: サポートされていない値に設定するとハードウェ アに損傷を与える可能性があります。
Inverter Polarity	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	Normal Inverted	Normal: PWM = 0% (Dim) Inverted: PWM = 0% (Bright) 適切な値については、インバーター・ボードの仕様を確認してく ださい。
IPv4 Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv4 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例: 192.168.0.10) DHCP が無効の場合 IP アドレスはホスト OS の IP アドレスと別 のアドレスにする必要があります。
IPv6 Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例: 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)

IPv6 Default Router	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例: 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
IPv6 Interface ID	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	• Random ID • Intel ID • Manual ID	Random ID: ランダムに ID を生成 Intel ID: MAC アドレスから ID を生成 Manual ID: ユーザー入力の 64 ビットの有効な値
IPv6 Manual Interface ID	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	IPv6 Interface ID が Manual ID に設定されている場合 64 ビットの 値を入力 (例: 1122:3344:5566:7788)

L			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
L2 Cache RAM	Main	情報のみ	搭載プロセッサーの L2 キャッシュ・メモリーの合計容量を表示 (MB)。 搭載プロセッサーがマルチコアの場合、コア数 x コアごと の L2 キャッシュと表示されます。 この設定は搭載プロセッサーが L2 キャッシュに対応している場合 に表示されます。
L3 Cache RAM	Main	情報のみ	搭載プロセッサーの L3 キャッシュ・メモリーの合計サイズを表示 (MB) <i>この設定は L3 キャッシュ対応プロセッサーを搭載したシステムにのみ表示されます。</i>
LAN	Configuration > On-Board Devices	EnableDisable	オンボード LAN コントローラーの有効または無効を指定
Load Custom Defaults	Exit	Continue? (Y/N)	BIOS はセットアップ・デフォルトをロード。 ユーザーのカスタ ムデフォルトがある場合、ユーザーのデフォルトを使用します。
Load Optimal Defaults	Exit	Continue? (Y/N)	BIOS はセットアップ・デフォルトをロード。 OEM カスタムデフ ォルトがある場合はそちらが使用されます。 この項目は、F9 BIOS Setup ホットキーと同等であり、 BIOS Passwords、HD Passwords、および Intel® ME メニューの項目には影響を与えま せん。
Long Duration Power Limit Override (Watts)	Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology	数値	インテル [®] ターボ・ブースト・テクノロジーは、Long Duration Power Limit Time Window で指定した時間中はこの電力制限を使 用
Long Duration Power Limit Time Window	Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology	数値	インテル [®] ターボ・ブースト・テクノロジーは、Long Duration Power Limit Time Window では Long Duration Power Limit Override を使用 (秒で指定)
LVDS Interface Type	Configuration > Video > LVDS Settings > Advanced LVDS Settings	 Single- Channel Dual-Channel 	LVDS の接続性を設定
LVDS Spread Spectrum Control	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	Disable +/- 0.5% Center Spread 1.0% Center Spread	LVDS スペクトラム拡散クロックを設定

Μ			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Maintain Aspect Ratio	Configuration > Video > LVDS Settings	• Yes • No	グラフィックス・ドライバーの初期化の前にアスペクト比を選択 Yes: ネイティブのアスペクト比 No: フルスクリーン <i>この BIOS 設定は、LVDS 対応インテル® デスクトップ・ボード にのみ表示されます。</i>

Manageability Feature	Intel® ME > Intel® Management Engine Configuration	None Intel® AMT Intel® Standard Manageability	None: 既定値。この設定を使用するとオンボード LAN の有効/無 効を切り替えられる Intel® AMT: インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジ ーを有効にします。詳細は次のページを参照してください: http://www.intel.com/ip/technology/platform-technology/intel-amt/ Intel® Standard Manageability: スタンダード・マネージャビリ ティーを有効にする AMT またはスタンダード・マネージャビリティー・オプションは 、システムに取り付けられているプロセッサー/チップセットに依 存します。
Manufacturer	Main > System Identification Information > Chassis Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシのバージョン文字 列を表示
Manufacturer	Main > System Identification Information > Desktop Board Information	情報のみ	SMBIOS タイプ2ストラクチャーからボードの製造元文字列を表示
Manufacturer	Main > System Identification Information > System Information	情報のみ	SMBIOS タイプ1ストラクチャーからシステムの製造元文字列を 表示
Master Key Hard Disk Drive Password	Security	情報のみ	マスターキー HDD パスワードが設定されているかどうか報告する
Max Inverter Current Limit (%)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	インバーター・ボードの動作に許容可能な最大 PWM を設定。これはモニターのバックライトに対する電流供給量の上限になります。 適切な値については、インバーター・ボードの仕様を確認してください。 警告: サポートされていない値に設定するとハードウェアに損傷を与える可能性があります。
Maximum Duty Cycle	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	数値	通常使用においてファンがそれ以上の速度では回転しない最大デ ューティー・サイクルを指定
Maximum Non- Turbo Ratio	Performance > Processor Overrides	数値	最大非ターボ・プロセッサー速度 = 最大非ターボ比率 x ホストク ロック周波数 インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーを利用している場 合、このパラメーターとホストクロック周波数でプロセッサーの 最大動作速度が決定されます。
ME Wake from S3, S4, S5	Intel® ME > Intel® Management Engine Configuration	Enable Disable	システムのスリーブ状態におけるインテル® ME の状態を決定 Enable: S3、S4、S5 スリープ時に ME が復帰可能 Disable: S3、S4、S5 スリープ時に ME は復帰できない
Memory	Performance	情報のみ	メモリー電圧の既定値、理論値、および現在値を表示

Memory Channel x Slot y	Main	情報のみ	 チャネルxスロットyに取り付けられているシステムメモリーの サイズを表示(GB) マザーボードに搭載されているそれぞれのメモリースロットに対して1行が表示されます。表示順はプロセッサーからメモリースロットまでの距離に基づいており、プロセッサーに最も近いスロットが最初に表示されます。 例: Memory Channel A Slot 0 2 GB Memory Channel B Slot 0 1 GB
Memory Correction	Performance > Memory Overrides	Non-ECC ECC	システムと搭載メモリーすべてが ECC (Error Correction Code) に 対応している場合にエラーレポート機能のオン・オフ切り替え可
			能
			この BIOS 設定は、ECC DIMM を搭載した ECC メモリー対応デ スクトップ・ボードにのみ表示されます。
Memory	Performance > Memory	• Auto	Auto:ホストクロック周波数、搭載プロセッサーの対応周波数倍
Multiplier	Overrides > Performance Memory Profiles	 Multiplier: DDRx- 	率、および DIMM が対応するメモリー周波数に基づいて BIOS が
		Frequency	メモリー周波数倍率を選択 Multiplier: DDRx-Frequency: BIOS は指定したメモリー周波数倍
			率を使用。 これに伴って周波数倍率が選択されている場合、メモ
			リーは表示されている動作周波数で動作します。
Memory Speed	Main	情報のみ	現在のメモリー速度を表示。 これは現在のホストクロック周波数
	Denfermente Menser	た料えること	×メモリー周波数倍率として算出されます。
Memory Voltage	Overrides > Performance Memory Profiles	複数の電圧値	メモリー電圧を変更すると、オーハークロックか可能になったり 、メモリーの互換性が向上する場合があります。
Microcode	Main > System	情報のみ	32 ビット・プロセッサーのマイクロコード・アップデート・リビ
Min Inverter	Configuration > Video >		ンヨンを 16 進致じ衣示 インバーター・ボードの動作に許容可能な最小 PM/M を設定
Current Limit (%)	Advanced Flat Panel Display Settings	32 112	れはモニターのバックライトに対する電流供給量の下限になります。
			適切な値については、インバーター・ボードの仕様を確認してく
			ださい。 警告: サポートされていない値に設定するとハードウェ
			ノに浪厥で子えるり形はバぬツまり。
Minimum Duty	Configuration > Fan	数値	ファンがそれ以下の速度では回転しない最小デューティー・サイ
Cycle	Control & Real-Lime Monitoring		クルを指定
Mode	Intel® ME > Intel® Active (情報のみ	プロビジョニング・モードを表示: TLS-PSK、TLS-PKI、または
	または Standard) Management Technology		Not Defined のいずれか
	Configuration > View		
	Provisioning Record		

Mode	Configuration >On-Board Devices > Parallel Port	 Output only Bi-directional EPP ECP 	パラレルポートのモードを指定。 このオプションはパラレルポー トが有効な場合にのみ利用できます。 Output Only: AT* 互換モードで動作 Bi-directional: PS/2 互換*モードで動作 EPP: 拡張パラレルポート・モード - プリンターでない周辺機器用 の双方向高速モード ECP: Enhanced Capability Port モード - プリンターおよびスキャ ナー用の双方向高速モード
mSATA Port	Configuration > SATA Drives	情報のみ	その SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字 列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒)を表示。 デバイスが接続されていない場合には [Not Installed] という文字列が表示されます。
mSATA Port x Hot Plug Capability	Configuration > SATA Drives	EnableDisable	有効にすると SATA ポートをホットプラグ対応として報告します 。
Multiplier	Performance	情報のみ	メモリー周波数倍率の既定値、理論値、および現在値を表示

Ν			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明/目的
No SATA Devices Detected	Configuration > SATA Drives	情報のみ	これは Discrete-SATA が有効なのに Discrete-SATA ポートにデバ イスが検出されない場合に表示されます。
No Video Detected Error Beeps	Configuration > Video	EnableDisable	ビデオが検出されない場合に鳴るマザーボード搭載スピーカーの ビープ音の有効または無効を指定
Numlock	Configuration > On-Board Devices	• Off • On	Numlock がオンの場合テンキーをデフォルトで数値入力にする

0			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Onboard LAN MAC Address	Main > System Identification Information	情報のみ	オンボード LAN デバイスの MAC アドレスを 16 進数で表示
Optical Drive Order	Boot	取り付けられ ている光学ド ライブ (CD/DVD) すべ ての一覧	光学ドライブ (CD/DVD) の優先順位を指定。 一覧には検出された 光学ドライブがすべて表示され、 ユーザーがデバイスの起動順序 を変更可能。 光学ドライブから起動する場合、BIOS はこの一覧 の順序に従って起動を試行します。
OS ACPI C2 Report	Power	EnableDisable	OS ACPI C2 レポートの有効または無効を指定。 有効にすると、 BIOS は ACPI C2 ステートを報告します (プロセッサーの C3 ステ ートにマッピングされる)。
Over- Temperature Threshold	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	数値	その温度以上でランタイム・アプリケーションが警告を発するこ とができる温度の閾値を指定
Over-Voltage Threshold	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	ユーザー定義	その電圧以上でランタイム・アプリケーションが警告を発するこ とができる電圧の閾値を指定

Overclocking Assistant	Performance	• Manual • Automatic	Manual: パフォーマンス関連の設定をユーザーが手動で構成 Automatic: パフォーマンス関連の設定 (下位画面のものを含む) が、Processor Speed (GHz)、Internal Graphics Speed (GHz)、 Memory Speed (MHz) を除いて灰色表示となり、以下のように設 定される: • Failsafe Watchdog - Enable • Host Clock Frequency (MHz) - 100 • Processor Voltage Override Type - None • Intel® Turbo Boost Technology - Enable • Sustained Mode Time (Seconds) - 1 • IGD Current Limit (Amps) - 64 • Active Core-Based Ratio Limits - Disable
Overridden Host Clock Frequency	Main	情報のみ	現在のホストクロック周波数を表示 この BIOS 設定は、Host Clock Frequency がデフォルト以外の値 になっているインテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されま す。
Overridden Memory Speed	Main	情報のみ	現在のメモリー速度を表示。 これは現在のホストクロック周波数 x メモリー周波数倍率として算出されます。 この BIOS 設定は、Host Clock Frequency と Memory Multiplier が デフォルト以外の値になっているインテル® デスクトップ・ボー ドにのみ表示されます。
Overridden Processor Speed	Main	情報のみ	現在の設定におけるプロセッサーの最大動作速度を表示。 これは 現在のホストクロック周波数 x 最大非ターボ比率として算出され ます。 <i>この BIOS 設定は Host Clock Frequency または Maximum Non-</i> <i>Turbo Ratio のデフォルト設定が変更されているインテル® デスク</i> <i>トップ・ボードにのみ表示されます。</i>
Overridden Processor Turbo Speed	Main	情報のみ	現在の設定におけるプロセッサーの最大動作速度を表示。 これは 現在のホストクロック周波数 x 1 コアのアクティブ・ターボ比率 として算出されます。 <i>この BIOS 設定は Host Clock Frequency または Turbo Ratios のデ</i> フォルト設定が変更されているインテル® デスクトップ・ボード にのみ表示されます。

Р			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス方 法	オプション	説明 / 目的
Panel Power Cycle Delay Time (ms)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	ディスプレイパネル再起動の遅延時間を指定
Panel Power- Down Delay Time (ms)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	ディスプレイパネル電源オフの遅延時間を指定
Panel Power-On Delay Time (ms)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	システムの起動後ディスプレイ・パネルがオンになるまでの遅延 時間を指定
Parallel Port	Configuration >On-Board Devices	EnableDisable	パラレルポートの有効または無効を指定

Partial Intel® AMT Reset	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration	Continue? (Y/N)	インテル [®] AMT の設定を工場既定値にリセット。ただし、インテ ル [®] ME パスワード、PSK (PID/PPS)、ドメイン名、ホスト名はリ セットしません。
Partial Intel® Standard Manageability Reset	Intel® ME > Intel® Standard Management Technology Configuration	Continue? (Y/N)	インテル [®] スタンダード・マネージャビリティーの設定を工場既定 値にリセット。ただし、インテル [®] ME パスワード、PSK (PID/PPS)、ドメイン名、ホスト名はリセットしません。
Pass Thru DMA	Security > Intel® VT for Directed I/O (VT-d)	EnableDisable	Isoch/非 Isoch VT-d エンジン・パススルー DMA サポートの有効 または無効を指定
PAVP	Configuration > Video	• Lite • Disable	Protected Audio-Video Path (PAVP) は、ハードウェア・アクセラ レーションによるオーディオ/ビデオ・デコードを用いてコンテン ツを保護します。 これには PAVP 対応プロセッサー/チップセット が必要です。 この項目は BIOS セットアップには表示されません 。これは Intel® Integrator Toolkit (ITK) からのみアクセス可能な項 目です。
PCH Core	Performance	情報のみ	PCH コア電圧の既定値、理論値、および現在値を表示
PCH Core Voltage Override	Performance > Bus Overrides	複数の電圧値	Configuration ページで Uncore/QPI Voltage の値を上げたとき、動作の安定性を確保するために PCI コア電圧の調整が必要となる可能性があります。
PCI Bus Frequency	Performance > Bus Overrides	情報のみ	PCI バスのクロック周波数を表示
PCI Express Bus Frequency	Performance > Bus Overrides	 110MHz 109MHz 108MHz 107MHz 106MHz 105MHz 104MHz 103MHz 102MHz 101MHz Default 	PCI Express のクロック周波数を設定。 古い PCI バスのクロック 周波数はこの 3 分 1 に設定されます。
PCI Latency Timer	Configuration > On-Board Devices	• 32 • 64 • 96 • 128 • 160 • 192 • 224 • 248	バス・マスターに対して PCI 遅延時間を設定。 PCI デバイスがク ロックサイクル中に PCI バスを確保する時間を制限します。 レガ シー PCI デバイスにのみ適用。
PCI/PCIe Slot Information	Configuration > PCI/PCIe Add-In Slots	情報のみ	マザーボードのそれぞれのスロットに対して、以下の情報を1行 表示
			 ・スロット・ナンバー (ボードのシルクスクリーン表示と一致する 必要があります) ・スロットの種類 (PCI または PCIe) ・PCIe スロット電気的帯域幅 ・PCIe スロット・ネゴシエート帯域幅 ・データ転送速度
PCIe ASPM L0s	Power	EnableDisable	PCIe Active State Power Management: L0 は PCI Express Link の 1 方向を低消費電力状態に設定
PCIe ASPM L1	Power	• Enable • Disable	PCIe Active State Power Management: L1 は双方向の PCI Express Link を低消費電力状態に設定

PCIe ASPM Support	Power	• Disable • Enable • PEG Only	Disable : すべての PCIe デバイスで ASPM サポートが無効になる Enable : すべての PCIe デバイスで ASPM サポートが有効になる PEG Only : ASPM は PCI Express Graphics (PEG) スロットに搭載したデバイスでのみ有効になる
Performance Memory Profiles	Performance > Memory Overrides	Automatic Manual – User Defined Profile x: XMP- Frequency	DIMM SPD の既定のメモリー設定の使用、手動でメモリー設定の 変更、または XMP プロファイルの選択を実行 Automatic: BIOS が全メモリー・パラメーターを自動的に設定 Manual – User Defined: ユーザーがメモリーのパラメーターを自 由にコントロール可能 Profile x: XMP-Frequency: 選択した XMP プロファイルに従って BIOS がメモリーのパラメーターを設定
Periodic Update Interval	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration	数値	Dynamic DNS Update が有効の場合、この値で DDNS (Dynamic DNS) アップデートの送信間隔を指定
Permanent Certificate Name	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage Permanent Certificates	情報のみ	恒久的証明書の名前を表示
PKI DNS Suffix	Intel® ME > Intel® Active(または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	ユーザー定義	PKI (Public Key Infrastructure) 用の Domain Name System サフィ ックス。 この値はプロビジョニング・サーバーの証明書で FQDN を検証するために使用されます (例: name.com)
Portable Device Charging Mode	Configuration > On-Board Devices > USB	• Off • Charging in S3/S4/S5 • Charging Only	 黄色の USB ポートは、最大給電量が多くなる Portable Device Charging Mode をサポートしています。 Off: USB は通常動作: USB ポートは S3/S4/S5 の状態で外部用に給電しません。 Charging in S3/S4/S5: USB ポートは S3/S4/S5 状態で外部に給電します。 Charging Only: USB ポートは常に外部に給電しますが、データ転送には利用できません。
POST Code Routing	Boot > Boot Display Options	• Onboard • PCI	ポート 80h、84-86h、88h、8C-8Eh のルーティングを指定 Onboard: BIOS POST コードをオンボード POST コード LED デ ィスプレイに送信 PCI: BIOS POST コードを PCI バス (PCI スロットに差し込まれ ている POST カード) に送信
POST Function Hotkeys Displayed	Boot > Boot Display Options	• Enable • Disable	有効の場合、BIOS は POST 中ファンクション・キーのプロンプ トを表示。 プロンプトが無効でもファンクション・キーの入力は 有効です。
Power-On to Backlight Enable Delay Time (ms)	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	数値	フラットパネルがオンになってからバックライトが点灯するまで の遅延時間を指定
Pre-Defined EDID Configuration	Configuration > Video > Advanced Flat Panel Display Settings	複数のフラッ トパネル・タ イプ	ビデオ BIOS 内の EDID 構成一覧から定義済み EDID を選択

Preferred DNS Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv4 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレスを入力 (例: 255.255.255.0)
Preferred DNS IPv6 Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv6 TCP/IP Configuration	ユーザー定義	有効なアドレスを入力 (例: 1122:3344:5566:7788:99AA:BBCC:DDEE:FF00)
Primary Video Adapter	Configuration > Video	 Auto Int Graphics (IGD) Ext PCle Graphics (PEG) Ext PCI Graphics Manual 	システム起動時にアクティブとなるディスプレイ・デバイスとし て、特定のビデオ・コントローラーを選択 システムの構成によって利用可能なオプションが異なる場合があ ります。
Processor C States	Power	• Enable • Disable	Enabled:システムの消費電力を最大限節約 Disabled:システム性能は向上しますが、システムの消費電力が 大きくなる可能性があります。
			スト機能を完全に機能させるにはCステートが必要です。
Processor Core	Performance	情報のみ	プロセッサー・コア電圧の既定値、理論値、および現在値を表示
Processor Family x Model y Stepping z	Main > System Identification Information	情報のみ	プロセッサー・ファミリー、モード、ステッピング情報 (拡張ファ ミリー/モデルを含む) を 16 進数で表示。 これらは、CPUID 命令 の EAX レジスター出力から、EAX が 1 にセットされている時に 取得します。
Processor Power Efficiency Policy	Power	High Performance Balanced Low Power	プロセッサーを省電力志向にするか、高パフォーマンス志向にす るか設定 High Performance: MSR 1B0h Bits 3:0 を 0h に設定 Balanced: MSR 1B0h Bits 3:0 を 5h に設定 Low Power: MSR 1B0h Bits 3:0 を 7h に設定
Processor Signature	Main > System Identification Information	情報のみ	32 ビットのプロセッサー・シグネチャーを 16 進数で表示。これ は、CPUID 命令の EAX レジスター出力から、EAX が 1 にセット されている時に取得される
Processor Speed	Main	情報のみ	現在の設定におけるプロセッサーの最大動作速度を表示。 これは 現在のホスト・クロック周波数 x 最大非ターボ比率として算出さ れます。
Processor System Agent	Performance	情報のみ	プロセッサー・システム・エージェント電圧の既定値、理論値、 および現在値を表示
Processor Turbo Speed	Main	情報のみ	現在の設定におけるプロセッサーの最大動作速度を表示。 これは 現在のホスト・クロック周波数 x1 コアのアクティブ・ターボ比 率として算出されます。
Processor Type	Main	情報のみ	CPUID 命令から取得したプロセッサー・ブランド文字列を表示
Product Name	Main > System Identification Information > Desktop Board Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードの製品名文字列を表 示

Product Name	Main > System Identification Information > System Information	情報のみ	SMBIOS タイプ1ストラクチャーからシステムの製品名文字列を 表示
Provisioning Mode	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	情報のみ	現在のプロビジョニング・モードを表示: PKI または PSK のい ずれか
Provisioning Record Details	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	以下のプロビジョニング情報を表示: • Mode • Server IP Address • Server FQDN • Date • Time Validity Pass • Secure DNS • Host Initiated • Hash Data • Hash Type • Cert. Serial Number • Cert. Type
Provisioning Server Address IPv4/IPv6	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法で IP アドレスを入力。 例:192.168.0.10
Provisioning Server Mode	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	OTC uses TLS-PSK Remote Configuration uses TLS-PKI	TLS- PSK (Transport Layer Security with Pre-Shared Key) を使用 する OTC (ワンタッチ設定) か、またはインテル® AMT 導入ポリ シーに基づいた TLS-PKI (Transport Layer Security with Public Key Infrastructure) を使ったリモート設定かを選択
Provisioning Server Port	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration	数値	プロビジョニン ^グ ・サーバー用のポート番号を入力。 ポート番号 の範囲 (0 - 65535)

4			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
QPI Power Management	Power	EnableDisable	QPI バスのパワー・マネジメントを有効化
			詳細は http://en.wikipedia.org/wiki/Intel_QuickPath_Interconnect を 参照してください。

R			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
Redirection Mode	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > SOL/IDER Configuration	• Enable • Disable	リダイレクション・モードの有効または無効を指定 AMT 5.0 以前のバージョン向けの古い SMB リダイレクション・コ ンソールを使用している場合、リダイレクション・モードは有効 にする必要があります。

BIOS 設定用語集 -	. <i>T</i>	ルフ	Р	~`	ツ	ŀ	順
--------------	------------	----	---	----	---	---	---

Remote Control of Opt-in Policy	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > KVM Configuration	• Enable • Disable	Enable: リモートユーザーによるユーザー・オプトイン・ポリシ ーの設定を許可 Disable: リモートユーザーによるユーザー・オプトイン・ポリ シーの設定を許可しない
Removable Drive Order	Boot	取り付けられ ているリムー バブル・デバ イスすべての 一覧	Boot Menu Type が Normal に設定されている場合リムーバブル・ デバイス (FDD、USB メモリー、など) の優先順位を指定。 一覧には検出されたリムーバブル・デバイスがすべて表示され、 ユーザーがデバイスの起動順序を変更可能。 リムーバブル・デバ イスから起動する場合、BIOS はこの一覧の順序に従って起動を試 行します。
Reset Intel® AMT to default factory settings	Maintenance または Intel® ME > Intel® Active Management Technology Configuration	Continue? (Y/N)	インテル [®] AMT の設定を工場既定値にリセット。 選択すると、 BIOS で AMT の設定が無効になり、既定のインテル® ME 設定が ロードします。
Reset Intel® Standard Manageability to default factory settings	Maintenance または Intel® ME > Intel® Standard Management Technology Configuration	Continue? (Y/N)	インテル®スタンダード・マネージャビリティーの設定を工場既 定値にリセット。選択すると、BIOSでスタンダード・マネージ ャビリティーの設定が無効になり、既定のインテル® ME 設定がロ ードされます。
Responsiveness	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	• Slow • Normal • Aggressive	温度の変化に応じたファン回転速度の変化の応答速度を指定
Restore Default Configuration	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	Continue? (Y/N)	はい (Y) を選択すると、BIOS の Fan Control 設定が消去されて初 期設定値がロードされます。 Fan Control 以外の BIOS セットア ップには影響がありません。

S			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
S1 State Indicator	Power	Off Blink On Alternate Color	システムの電源状態が S1 のときのフロントパネル LED の動作を 決定
S3 State Indicator	Power	Off Blink On Alternate Color	システムの電源状態が S3 のときのフロントパネルの電源 LED の 動作を決定
SATA Controller Mode	Configuration > SATA Drives	• IDE • AHCI	BIOS 設定で選択できるのは IDE と AHCI のみですが、SATA Gen 3 コントローラー Option ROM (起動時に ctrl + M 押してメニュー を開く) から RAID モードを選択可能です。 注: RAID アレイを複数の SATA ドライバー・コントローラー (x6 ICH10 Gen-2 黒色ポート, x2 Discrete Gen-3 青色ポートおよび x2 eSATA Gen-2 赤色ポート) で共有することはできません。

SATA Port x	Configuration > SATA Drives	情報のみ	その SATA ポートに接続されているデバイスのデバイス識別文字 列、容量 (GB)、ネゴシエート速度 (1.5 Gb/秒、3.0 Gb/秒、または 6.0 Gb/秒) を表示。 デバイスが接続されていない場合には [Not Installed] という文字列が表示されます。
SATA Port x Hot Plug Capability	Configuration > SATA Drives	EnableDisable	有効にすると SATA ポートをホットプラグ対応として報告します。
Save Custom Defaults	Exit	Continue? (Y/N)	既存の設定値をユーザーのカスタム・デフォルトとして保存
Screen Brightness	Configuration > Video > LVDS Settings	• Enable • Disable	パネル・バックライトの輝度設定の有効または無効を指定 <i>この BIOS 設定は、LVDS 対応インテル® デスクトップ・ボード にのみ表示されます。</i>
Secondary LAN	Configuration > On- Board Devices	• Enable • Disable	オンボードのセカンダリー LAN コントローラーの有効または無効 を指定
Secondary SATA	Configuration > SATA Drives	• Enable • Disable	Secondary SATA コントローラーの有効または無効を指定。 Secondary SATA コントローラーは青色の内部 SATA ポート 2 個 とバックパネルの eSATA ポート 2 個をサポート。 BIOS 画面に表示されるヘルプ・テキストは使用するボードごとに
			, 異なります。
Secondary SATA Mode	Configuration > SATA Drives	• IDE • AHCI • RAID	IDE: 互換モードで RAID サポートを無効にする AHCI: ネイティブ・コマンド・キューイング (NCQ) など高度な SATA 機能に対応 RAID: 複数のドライブを大容量のボリュームに統合してパフォー マンスおよび信頼性を向上する
			警告: この設定をオペレーティング・システムのインストール後に変更すると、システムが起動しない場合があります。
Secondary USB 3.0 Controller	Configuration > On- Board Devices > USB	• Enable • Disable	Secondary USB 3.0 コントローラーと、そのコントローラーを経 由する全ての USB ポートの有効または無効を指定。 チップセッ ト USB 3.0 コントローラーを経由する USB ポートには影響を与 えません。
Secure DNS	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	Secure DNS を表示: Yes、No、または Invalid のいずれか
Serial Number	Main > System Identification Information > Chassis Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシの製造元シリアル 番号文字列を表示
Serial Number	Main > System Identification Information > Desktop Board Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードのシリアル番号文字 列を表示
Serial Number	Main > System Identification Information > System Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 ストラクチャーからシステムのシリアル番号文 字列を表示
Serial Port	Configuration > On- Board Devices	EnableDisable	シリアルポートの有効または無効を指定
Serial Port 2	Configuration > On- Board Devices	EnableDisable	2 つ目のシリアルポートの有効または無効を指定
			この BIOS 設定は、シリアルポートを2 つ搭載したインテル® デ スクトップ・ボードにのみ表示されます。

Server FQDN	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	プロビジョニング・サーバーの FQDN を表示
Server IP Address	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	プロビジョニング・サーバーの IP アドレスを表示
Set Master Key Hard Disk Drive Password	Security	ユーザー定義	マスターキー HDD パスワードの設定 マスターキー HDD パスワードは、HDD パスワードを忘れた場合 にドライブのロックを解除するためにのみ使用します。 マスター キー HDD パスワード自体は、ドライブをロックしません。オリ ジナルの HDD パスワードなしには、リカバリーもできず、パスワ ードを削除することもできません。 HDD パスワードまたはマスタ ーキー HDD パスワードを入力するまで、ドライブにはアクセスで きなくなります。
Set Hard Disk Drive Password	Security	ユーザー定義	HDD パスワードの設定 HDD パスワードを作成した場合、起動時オペレーティング・シス テムにアクセスする前に必ず入力しなければなりません。オリジ ナルの HDD パスワードなしには、リカバリーもできず、パスワー ドを削除することもできません。 HDD パスワードまたはマスター キー HDD パスワードを入力するまで、ドライブにはアクセスでき なくなります。
Set PRTC	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration	ユーザー定義	インテル® AMT PRTC (Protected Real Time Clock) の設定 グリニッジ標準時 (GMT) フォーマットで PRTC を入力: YYYY:MM:DD:HH:MM:SS
Set Supervisor Password	Security	ユーザー定義	スーパーバイザー・パスワードの設定 スーパーバイザー・パスワードは全てのセットアップ・オプションの表示および変更に対し、無制限のアクセスを付与します。スーパーバイザーパスワードのみが設定されている場合、BIOS セットアップのパスワードプロンプトで <enter> キーを押すとセットアップに対して限定されたアクセスが与えられます。スーパーバイザー・パスワードとユーザーパスワードの両方が設定されている場合、BIOS セットアップへのアクセスにはいずれかのパスワードを入力しなければなりません。入力したパスワードの種類に従って、各 セットアップ・オプションの表示または変更が可能になります。</enter>
Set User Password	Security	ユーザー定義 	ユーザーパスワードを設定 ユーザーパスワードを設定すると、コンピューターを起動できる ユーザーが制限され、コンピューターの起動前には、パスワード プロンプトが表示されます。スーパーバイザー・ パスワードのみが設定された場合、コンピューターはパスワード を要求せずに起動します。スーパーバイザー・パスワードとユー ザーパスワードを共に設定した場合、いずれかのパスワードによ ってコンピューターを起動できます。
Setup and Configuration Mode	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration	Local Remote	Local: サーバーと通信せずに AMT 設定を実行 Remote: サーバーとの通信により AMT 設定を実行

Shared/Dedicate d FQDN	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration	SharedDedicated	Shared: インテル® ME はホスト OS と FQDN (完全修飾ドメイン 名) を共有 Dedicated: FQDN はインテル® ME 専用
Short Duration Power Limit Override (Watts)	Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology	数値	インテル [®] ターボ・ブースト・テクノロジーは、非常に短い時間に はこの電力制限を使用し、 その後で Long Duration Power Limit に従います。
SKU Number	Main > System Identification Information > System Information $\ddagger t$:I \ddagger Main > System Identification Information > Chassis Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 またはタイプ 3 ストラクチャーから SKU 番号 を表示
Skull Backlighting	Configuration > On- Board Devices	• Enable • Disable	ボード上のドクロマークのバックライトの有効または無効を指定 <i>この BIOS 設定は一部のエクストリーム・シリーズのインテル</i> ® <i>デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</i>
Skull Eye Hard Drive Activity	Configuration > On- Board Devices > Skull Backlighting	• Enable • Disable	ハードドライブ動作に合わせたドクロの目の点灯を設定 <i>この BIOS 設定は一部のエクストリーム・シリーズのインテル</i> ® <i>デスクトップ・ボードにのみ表示されます。</i>
S.M.A.R.T.	Configuration > SATA Drives	• Auto • Disable • Enable	 HDD の S.M.A.R.T. (Self Monitoring Analysis And Reporting Technology) モニター機能の有効または無効を指定。 S.M.A.R.T. は現行のハードディスクすべてが対応している機能で、ハードディスク・エラーの兆候を事前に予測し、警告することができます。 S.M.A.R.T. 対応ユーティリティーを使用してハードディスクの状態を監視するには、この機能を有効にしてください。 S.M.A.R.T. 機能の詳細については、次のリンクを参照してください。 S.M.A.R.T. 機能の詳細については、次のリンクを参照してください。 <u>http://en.wikipedia.org/wiki/Self-Monitoring, Analysis, and Reporting Technology</u>
SODIMMx	Main	情報のみ	SODIMM スロットに搭載されているシステム・メモリーの合計容 量を表示 (GB)
SOL/IDER Authentication Mode	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > SOL/IDER Configuration	• Enable • Disable	IDER と SOL が LAN 上のインターフェイスを確認し、セキュリティを確保する方法を選択 Enable: Kerberos 認証を要求 Disable: ユーザー名とパスワードによる認証を許可
Speed	Performance	情報のみ	プロセッサーの場合: プロセッサー動作速度の既定値、理論値、 および現在値を表示 メモリーの場合: メモリー動作速度の既定値、理論値、および現 在値を表示
Subnet Mask	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Local Setup and Configuration > IPv4 TCP/IP	ユーザー定義	ドット付き 10 進記法でアドレス・マスクを入力 (例: 255.255.255.0)

	Configuration		
Supervisor Password	Security	情報のみ	スーパーバイザー・パスワードが設定済みかどうか報告
System Agent Voltage Override	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	システム・エージェント電圧を変更するとメモリーのオーバーク ロックが可能になる場合があります。
System Date	Main	月、日、年	リアルタイム・クロック (RTC) の System Date の表示および変更 。
			RTC Date は [MM/DD/YYYY] フォーマットで表示されます。 Tab キーによって各フィールドを選択し、 + キーと – キーを使用して 選択フィールドの値を増減します。 変更すると、Save & Exit Setup または F10 キーの使用まで待たずに RTC に即座に反映され ます。 RTC が無効な日付を報告した場合や、バッテリーまたは CMOS チェックサム・エラーが生じた場合のみ、既定値の日付が ロードされます。 他の Setup 既定値がロードされた場合 (F9 キー など) には、既定の日付はロードされません。
System Time	Main	時間、分、秒	リアルタイム・クロック (RTC) の System Time の表示および変更 。
			RTC Time は 24 時間フォーマット [HH:MM:SS] で表示されます。 Tab キーによって各フィールドを選択し、 + キーと – キーを使用 して選択フィールドの値を増減します。 変更すると、Save & Exit Setup または F10 キーの使用まで待たずに RTC に即座に反映され ます。 RTC が無効な時刻を報告した場合や、バッテリーまたは CMOS チェックサム・エラーが生じた場合のみ、既定値の時刻が ロードされます。 他の Setup 既定値がロードされた場合 (F9 キー など) には、既定の時刻はロードされません。

т

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
tCL	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	CAS Latency: データ要求からリードまでのクロックサイクル数を 選択
TDC Current Limit Override (Amps)	Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology	数値	インテル [®] ターボ・ブースト・テクノロジーは、プロセッサーがこ の電流制限を超えて動作している場合、使用を停止します。
TDP Power Limit Override (Watts)	Performance > Processor Overrides > Intel® Turbo Boost Technology	数値	インテル [®] ターボ・ブースト・テクノロジーは、プロセッサーがこ の電力制限を超えて動作している場合、使用を停止します。
tFAW	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	Four Active Window: 新しいバンクへの5番目の ACTIVE コマン ドが発行されるまでの時間
Thunderbolt™ Controller	Configuration > Onboard Devices	EnableDisable	オンボード Thunderbolt™ コントローラーの有効または無効を指 定
			この BIOS 設定は、Thunderbolt を搭載したインテル® デスクトッ プ・ボードにのみ表示されます。

Time Validity Pass	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > View Provisioning Record	情報のみ	時間有効性合格の表示: Yes、No、または Invalid のいずれか
TLS Pre-Shared Key (PSK) PID	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology	ユーザー定義	PID (プロビジョニング ID) はダッシュで区切られた 8 桁の英数文 字列 (例: ABCD-123K)。
	Configuration > Remote Setup and Configuration		安全な TLS-PSK セッションの確立には PID と PPS (プロビジョ ニング・パスフレーズ) の両方の設定が必要
TLS Pre-Shared Key (PSK) PPS	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote	ユーザー定義	PPS (プロビジョニング・パスフレーズ) はダッシュで区切られた 32 桁の英数文字列 (例: EGET-GZFF-C6A6-ORRR-HQXP-C9JI- RJGB-KBS8)
	Setup and Configuration		安全な TLS-PSK セッションの確立には PID (プロビジョニング ID) と PPS の両方の設定が必要
Total Memory	Main	情報のみ	搭載されているシステム・メモリーの合計容量を表示 (GB)
tRASmin	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	Minimum RAS Active Time: バンク・アクティベーションからプリ チャージまでのクロックサイクル数を選択
tRC	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	Row Cycle Delay: 同じバンクへの連続した ACTIVE コマンドの最 小間隔を選択
tRCD	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	RAS-to-CAS Delay: アクティベーションからリード/ライトまでの クロックサイクル数を選択
tRFC	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	RAS Refresh: 行のリフレッシュからアクティベーションまでのク ロックサイクル数を選択
tRP	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	RAS Pre-Charge:新しい行へのアクセスに必要なクロックサイク ル数を選択
tRRD	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	RAS to RAS Delay: 同じ列の次のバンクのアクティベーションに 必要なクロックサイクル数を選択
tRTP	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	Read to Precharge Delay: 同じ列のリードコマンドからプリチャ ージ・コマンドに移行するまでに必要なクロックサイクル数を選 択
Trusted Platform Module	Configuration > On- Board Devices	EnableDisable	トラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) の有効また は無効を指定
			この BIOS 設定はトラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM) 対応インテル® デスクトップ・ボードにのみ表示されます 。
			TPM の詳細については、 http://en.wikipedia.org/wiki/Trusted_Platform_Module を参照してく ださい。
tWR	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値 	Write Recovery: プリチャージからライトまでのクロックサイクル 数を選択
tWTR	Performance > Memory Overrides > Performance Memory Profiles	+/- で変更する 値	Write to Read: ライトから次のリードコマンドまでのクロックサ イクル数を選択。tCL に関係しています。

U

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
UEFI boot	Boot	• Enable • Disable	 UEFI (Unified Extended Firmware Interface) Boot が有効か無効か を設定。容量が2 TB (テラバイト)を超えるドライブで起動する ためには、UEFI Boot が有効になっていなければなりません。 Enable : BIOS は通常の起動手順を実行する前に、UEFI での起 動を試行 Disable : BIOS は通常の起動手順を使用 UEFI の詳細は次のウェブサイトを参照してください:
			http://www.uefi.org/home
Uncore Multiplier	Performance > Memory Overrides	数値	Uncore 周波数倍率は L3 キャッシュ、メモリー・コントローラー 、統合グラフィックス・デバイス等のプロセッサー機能のパフォ ーマンスと安定性に影響を及ぼします。
Uncore Voltage Override	Performance > Memory Overrides	複数の電圧値	CPU Uncore 電圧調整の許可
Under-Speed Threshold	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	数値	ファンの回転数 (RPM) が設定値未満になった場合に警告を行う閾 値を設定。 この警告を表示するには監視ユーティリティーが必要 です。
Under-Voltage Threshold	Configuration > Fan Control & Real-Time Monitoring	ユーザー定義	その電圧以下でランタイム・アプリケーションが警告を発するこ とができる電圧の閾値を指定
Unlock Intel®	Maintenance	• Yes	Voc オプションを選択すると ソフトウェアを使用したファンコ

moonola	Monitoring		とがてきる电圧の阈値を相定
Unlock Intel® QST	Maintenance	• Yes • No	Yes オプションを選択すると、ソフトウェアを使用したファンコ ントロール設定に変更可能
USB 3.0 Controller	Configuration On-Board Devices > USB	EnableDisable	USB 3.0 ポートおよび USB 3.0 コントローラーすべての有効また は無効を指定。 USB 3.0 ポートはバックパネル上の青いポートで 、図で USB* と表されています。
USB Boot	Boot	EnableDisable	USB 起動デバイスからの起動が有効か無効かを設定
USB Legacy	Configuration On-Board Devices > USB	• Enable • Disable	USB Legacy 対応の有効または無効を指定
			USB Legacy によって、USB を認識しないオペレーティング・シ ステムで USB に対応します。 USB Legacy を無効にしても、 BIOS SETUP および Option ROM など BIOS POST 中の USB キ ーボードは無効になることはありません。
USB Optimization	Boot	• Enable • Disable	Enabled: 有効にするとオペレーティング・システムの起動前に すべての USB デバイスが使用できなくなりますが、システムが高 速に起動します。 Disabled: オペレーティング・システムの起動前にも USB デバイ スが使用できますが、BIOS の起動が遅くなります。
			この機能はユーザー・ハスワートまたはハートトライブ・ハスワードが使用されている環境では有効にできません。
			この BIOS 設定は Fast Boot が有効な場合に表示されます。

USB Port x	Configuration > On- Board Devices USB	• Enable • Disable • No Detect	個別の USB ポートの有効または無効を指定 BIOS で無効に設定された USB ポートに接続されている場合、 USB キーボードは POST およびセットアップの間は有効ですが、 オペレーティング・システムが起動すると無効になります。 キーボード以外のデバイスはすべて、POST、セットアップ、およ びオペレーティング・システムの動作中も無効になります。 つま り、無効に設定された USB ポートに接続されているドライブは、 BIOS セットアップ中の起動順序に表示されません。 No Detect: POST 実行中に選択したポートで USB デバイスの検 出をスキップ。 オペレーティング・システム起動後は、接続され ている USB デバイス全てを検出・使用できます。 起動時間を短 縮する一方で、オペレーティング・システムからすべての USB デ
Use Maximum	Maintenance	Automatic	ロックされていないプロセッサーのみ: CPU 動作周波数を最小倍
Multiplier		Disable	率または定格倍率のいずれかに設定
User access Level	Security	Full Limited View Only No Access	User Access Level はユーザーパスワードを入力したときに許可さ れる BIOS Setup へのアクセス・レベルを決定 Full: ユーザーパスワードにより User Access Level を除くすべて の質問にアクセスを許可 Limited: ユーザーパスワードにより、Time/Date/Language/User Password オプションにアクセス許可 View Only: ユーザーパスワードにより、Language のみにアクセ スを許可し、変更は保存できない No Access: セットアップへのアクセスにユーザーパスワードを 使用できない <i>この BIOS 設定はスーパーバイザー・パスワードが設定済みの場</i> <i>合にのみ表示されます。</i>
User Consent for Opt-in Session	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > KVM Configuration	Required Not Required	Required: KVM セッションのリモート実行にローカルユーザーの 同意を要求 Not Required: リモート実行の許可にローカルユーザーの同意を 必要としない
User Hash Certificate #x	Intel® ME > Intel® Active (または Standard) Management Technology Configuration > Remote Setup and Configuration > Manage User Defined Certificates	ユーザー定義	証明書ハッシュの追跡に使用される、判読可能な一意の ID。 英 数字の入力がサポートされます。
User Password	Security	情報のみ	ユーザーパスワードが設定されているか報告
UUID	Main > System Identification Information > System Information	情報のみ	SMBIOS タイプ1ストラクチャーから UUID/GUID を表示

V

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
Version	Main > System Identification Information > Chassis Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 3 ストラクチャーからシャーシのバージョン文字 列を表示

Version	Main > System Identification Information > Desktop Board Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 2 ストラクチャーからボードのバージョン文字列 を表示
Version	Main > System Identification Information > System Information	情報のみ	SMBIOS タイプ 1 ストラクチャーからシステムのバージョン文字 列を表示
Video Optimization	Boot	• Enable • Disable	Enabled: BIOS にはテキストのみが表示され、高速に起動します。 す。 Disabled: BIOS はロゴ画像を表示し、起動が遅い。 この機能はオペレーティング・システム起動後のビデオ機能には 影響を与えません。
			この BIOS 設定は、Fast Boot が有効の場合に表示されます。

W

BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
Wake on LAN from S4/S5	Power	Stay off Power On – Normal Boot Power On – PXE Boot	電源状態 が S4/S5 ときに Wake on LAN パケットを受信した場合 の動作を設定 Stay off: Wake on LAN パケットの受信してもシステムは S4/S5 から復帰しない Power On-Normal Boot: Wake on LAN パケットの受信後にシス テムは S4.S5 から復帰し、通常起動を開始する Power On-PXE Boot: Wake on LAN パケットの受信後にシステ ムは S4.S5 から復帰し、PXE ブートを試みる オペレーティング・システムの LAN ドライバーでも Wake on LAN を有効にしなければなりません。Deep S4/S5 が有効になっ ている場合、この設定は無効となります。
Wake system from S5	Power	• Enable • Disable	システムのウェイク・オン・アラーム・イベントの有効または無 効を指定。 有効にすると、システムは指定した日/時刻/分/秒に起 動します。
Wakeup Date	Power	数値 0 - 31	システムを起動する日付を選択。 0にすると毎日起動します。
Wakeup Hour	Power	数値 0 - 23	起動時刻を 24 時フォーマットで指定。 例:15 = 午後 3 時
Wakeup Minute	Power	数値 0 - 59	システムが起動する分を指定
Wakeup Second	Power	数値 0 - 59	システムが起動する秒を指定
Watchdog Coverage for Host Clock	Performance	• Enable • Disable	有効にした場合、Watchdog タイマーがシステムのフリーズやエ ラーを検出し、POST エラーが検出された際にはシステムをリセ ットします。 エラーが生じると Watchdog Timer Assertion がシス テムをリセットし、初期設定で起動し、警告メッセージを表示し ます。

Х			
BIOS 設定	BIOS 画面でのアクセス 方法	オプション	説明 / 目的
XD Technology	Security	EnableDisable	エグゼキュート・ディスエーブル・ビット・テクノロジーの有効 または無効を指定。
			エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能は、対応するオペ レーティング・システムを組み合わせることで、悪意のある特定 の「バッファー・オーバーフロー」攻撃の防止に役立ちます。
			詳細については、次の参照してください: http://www.intel.com/technology/xdbit/